

ともの家

福祉情報を発信します

主体性を養い、役割と出番を体感し、成長し合う「日中活動」

働くことを柱に日中生活を組み立てていますが、今回は、作業外の日中の活動についてご紹介します。

活動は「ともの家」という小さな集団の中で、主体性を養い、役割と出番を体感し、互いに成長し合うために重要な役割を果たしています。

その一部をご紹介します。

「日中活動」をご紹介します

〈畑〉春から色々な種類のハーブを育てています。取り立ての葉でハーブティを飲み贅沢な気分を味わい、コンポストでは野菜くずを肥料にし、収穫したバジルでソースを作って、パンの材料に使っています。



〈ボッチャ〉パラリンピック競技としても知られていて、だれでも活躍できる多様性のスポーツです。いつかオリンピック選手を招いて対戦したいと言う夢を持っています。

〈調理〉季節の野菜や行事に合わせて作ったものはお昼ご飯にみんなで食べます。

〈製作〉毎月のカレンダーを計画段階から話し合い、季節を感じながら作成に取り掛かります。



〈巡活〉じゅんかつ 心身の健康のための活動で、ともの家で作り出した造語です。高齢になった仲間のためだけでなく、若いうちから、いつまでも動ける身体を作ることは重要です。血液、リンパ、気の流れを



活性化させ、心と体のバランスを整えています。

この他にもまだまだご紹介きれないほどの活動があります。今日もよかった、楽しかった、明日もまた…と思えること。小さな充実を日々積み上げていきます。





すまいるカフェ (毎週第4火曜日 13:30~)

…地域の皆さんの「行きたい場所」に

この事業は、静岡市からの委託事業になり、平成29年度から行っています。

事業目的としては、「認知症の人及び介護する家族の負担を軽減するとともに、地域住民の認知症への理解を深めるため…」とありますが、あすなろでは、地域の皆さんの「行きたい場所」の一つになればいいなあと考えながら、職員が楽しく企画しております。

もちろん認知症をテーマにした勉強も取り入れながらです。

具体的な活動としては、掲載の写真をご覧ください。他にも「カルタ作りからのカルタ大会」「キーホルダー作り」「歯科衛生士さんの歯の話」など、自由な雰囲気の中で行っており、参加者より楽しく色々なことを教えてもらっているのが良い！と好評です。

そして最後のお楽しみで、厨房手作りのおやつを食べていただき終了です。参加費：¥100でやっています。

どなたでも参加できます。お待ちしております。



認知症の話



おいしいお菓子づくり



身体動かしっぱい笑う運動会

厨房手作りおやつ





4年ぶりに 子ども・保護者・卒園生・職員 夏の夜 みんなで楽しむ 夏まつり復活!!

4年ぶりに、夜の夏まつりを
行いました。

夜の夏まつりは、子ども・保
護者・職員も初めて経験する人
が多い中での開催となりました。

暑さ対策を考えた上で、今ま
で通りではなく、タイムスケジ
ュールの見直しや売店のやり方を変え、保護者の皆さんのご理解のもと行うことが出来ました。

保育では、みかん組の『風の子まつり太鼓』、りんご組『どんどん・ど・どんこ』の踊りを、沢山の方に見
ていただくことができました。

子どもにとってこの経験が、大きな自信へと繋がっていくと思います。盆踊りでは、小さいお友だちや卒園
生も一緒に踊り、とても盛り上がっていました。



売店は、初めて委託したものを販売

売店では、初めて、委託したものを販売する形式にしました。
地域の“papa ランチ”の、おにぎりや焼きそば、からあげ、た
こ焼きを販売し、とても好評でした。

以前は、売店や駐車場警備など、保護者全員で交替して、お
手伝いを行っていましたが、コロナ禍の経験を活かして、夏ま
つり実行委員の保護者、職員が中心となって行うやり方に変え
ました。お手伝いしていただいた、実行委員さんからは「保護
者の交流もでき、良かったです。」という感想がありました。

「同窓会みたい！」—たくさんの卒園生とご家族も

そして、予想以上に卒園生が来てくれました。卒園した保護者の方から「待ってたよ。」という言葉に、皆
さんが楽しみにしてくれていることに、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

在園児の保護者からも、「同窓会みたいでいいですね。」「卒園生がたくさんいて驚きました。」という声があ
りました。卒園児が、大きくなってもここに来てく
れる・・・そんな風の子でありたいと改めて思いま
した。

夏まつりの最後は、職員による太鼓『海のおはや
し』でした。保育と同様、先輩から後輩に受け継がれ
てきたひとつです。子ども達は憧れを抱き、私達は
若手職員の頑張りに信頼が増していきます。

4年振りの夜の夏まつりは、子ども・保護者・卒園
生・職員とみんなで復活させることができました。



就労支援継続A型事業所で相次ぐ障害者解雇！ 利益目的の事業所への給付金引き下げが利用者を直撃

報道によると今年春から就労支援A型作業所に勤務する障害者が次々と解雇され全国でおよそ5千人にのぼるといいます。

就労支援にはA型とB型があり（ここではその違いには触れません）、A型は事業収益から雇用している障害者の賃金を支払わなければなりません。その上で給付金や助成金、加算金など種々の補助金が事業者へ給付されていました。ところがこれを守れない事業者が少なからず存在しました。統計によれば、生産活動による売上高から利用者の賃金を支払うと、マイナスになる事業者が全体の43.4%でした。そのため厚労省は、事業の収益で賃金を支払えない場合は給付を大幅に引き下げたのです。

そのため給付金を当てにしていた事業者は、利益が出なくなってしまうので、利用者を解雇したり、事業所を閉鎖（3～7月で329施設）してしまっただけです。問題のある事業者についてはやむを得ない面もありますが、障害の重い人を雇用して頑張っていた事業所などもある中での、画一的な給付カットでした。

株式会社による社会福祉事業運営の矛盾も

この問題の背景の一つに、株式会社による社会福祉事業運営があると考えます。

これまでも株式会社の経営する保育園での不適切保育や、最近では「(株) 恵」の運営する障害者グループホーム「ふわふわ」による、組織ぐるみでの虚偽のサービス提供記録をつくり、障害福祉や医療の報酬を不正に受け取っていた事件があります。

利益追求を目的とする株式会社が、社会福祉事業を運営することに問題があると思いますし、そうである以上、そもそも制度設計を考えるべきであり、その上で指導監査が適切に機能し、重箱の隅をつつつくような監査ではなく、もっと実効性のある監査を行なうことによって、こうした不正は防げるのではないかと考えます。

臨時評議員会開催される

あすなるの家「久遠チョコレート事業」に賛否…活発な討論、承認される

法人理事長 杉井則夫

9月14日、あすなる福祉会2024年度臨時評議員会が開催されました。議題は、中心的にはあすなるの家が事業目的に追加しようとしている公益事業としての「久遠チョコレート事業」について、定款変更を諮ることでした。（他に2件の案件がありましたが、実務的な事項で異論もなく可決されました）。

「久遠チョコレート事業」については、何人もの評議員から疑問が呈されました。疑問は「なぜあすなるの家がチョコレート事業なのか？」ということと、「採算性は大丈夫か？」の2点が主要でしたが、フランチャイズシステムや、チョコレートの原料であるカカオ豆の国際価格高騰などに対する不安なども提起されました。全評議員が意見を述べ、質疑を交わした後、採決の結果、全評議員数の2/3以上の賛成によって定款への事業目的追加が承認されました。（新しい「久遠チョコレート」事業については、次号で紹介いたします）

あすなる福祉会の未来を真剣にお考えくださっていることをひしひしと……

評議員会での審議は、これまですべての議案が出席評議員全員の賛成で推移してきた中で、今回は賛否が分かれました。しかし、全評議員が出席し、全員が発言し活発な討論が行われる状況を見て、改めて評議員の皆さんが、あすなる福祉会の現在と未来について、真剣にお考えくださっていることがひしひしと感じられました。定款変更の承認を受け、あすなるの家は「久遠チョコレート事業」スタートに向けて準備を始めますが、重い責任を背負ってのスタートとなります。